

枕崎市地域公共交通活性化協議会 令和5年度第1回会議 議事概要

令和5年5月2日(火) 14時00分

Camping Office osoto Makurazaki

【出席者】

委員31名中28名の出席あり

【内容】

1 開会

2 会長あいさつ

枕崎市長よりあいさつ

3 協議事項

(1) 委員の交代について

各社異動に伴う委員の交代

質疑なし、承認

(2) 令和4年度事業報告及び決算(案)について

(3) 令和5年度事業報告及び予算(案)について

(委員)PDCA サイクルについて、丁寧にチェックされているので、今後も続けてほしい。路線バスの時刻表が破れたりはがれたりしている。施策展開の事業と併せて、バス停の見守りも行ってほしい。

(委員)施策13 次世代自動車の導入について、市では何台導入しているのか。

(事務局)施策13は、公共交通でのEV導入についてである。市では、現在3台ほど導入されている。

(委員)予算(案)の支出の前年度との比較増減がおかしい。

(事務局)確認し、改めて、正しいものを提供する。

(4) その他

○意見は特になし

4 報告

(5) 路線バスの運行見直しについて

(委員) 今分かるようであれば、1便、2便となるものについて、どの時間帯が残るのか教えてほしい。

(事務局) 具体的にはまだ決定していない。どの時間帯にどんな属性の人が乗っているのか調べ、事業者と協議していく必要がある。

(委員) 0.5 とは何か。

(事務局) 0.5 は、片道である。例えば、1.5 便というのは、1.5 往復、1往復半ということである。

(委員) 金山線の輸送人員が乗っていないが、どのくらいの輸送人員なのか。

(事務局) 地域公共交通計画を作成する際の資料では、平均輸送人員 6.3 人、平均乗車密度 5.1 人である。

運転手不足が深刻化している。今年度の施策にも挙げているが、地元高校生への合同就職説明会に交通事業者が参加できるよう、調整を行っている。陳情活動の項目として、運転手不足に対する国、県からの支援について追加を行っている。

(委員) 協議会は、何月ごろに、どういうことを求めて集まるのか。

(事務局) 喫緊の課題としては、路線バスに対する代々手段等について考える。9月ごろに1回、総括として3月に1会の計3回協議会を開く予定である。

(委員) 諮ることを決める段階で集まれるような仕組みができれば良い。何か気になること、ここで挙げられていない課題がある可能性がある。それを出し合うのも大事ではないか。

また、何回かリモートで参加したが、マイクの声が聞き取れない。会場でもマイクの声が聞き取りにくい。

(事務局) 9月はこういう方向性でいきたいと示す場になる。それまでの間に、グループを小分けにして意見を簡単に出せるような会合を計画したい。

(委員) 協議会に参加する委員がバスに乗っていない。協議会の前後に乗って現状を知るいい機会である。お金を払ってバスに乗るというのは大事なことである。

鹿児島県の別な自治体で、協議会という形では自由に意見が言えないため、計画を作成する会議ではあったが、協議会の中に一度意見交換会を行っていた。

(6) その他

5 報告

(事務局) 事務連絡

6 閉会